



## 電子パス、使います！

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター  
医療情報管理部 地域クリニカルパス開発研修室

船田千秋

### 【はじめに】

「電子パス使いますか？、使いませんか？」

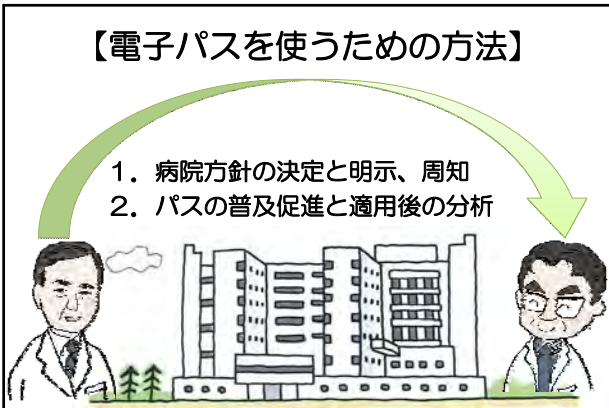
電子カルテを導入すると…

パスの、何が変るの？  
何の為に、パスを電子化するの？  
セットオーダーじゃだめなの？

3年間の電子パスの“使いよう”を紹介する。

### 【電子パスを使うための方法】

1. 病院方針の決定と明示、周知  
2. パスの普及促進と適用後の分析



### 【電子パスを使うための方法】

#### 1. 病院方針の決定と明示、周知

- 電子カルテを導入したことで
- 紙パスで困っていたことは解決 と予測！

各種マスター整備

システムを使うことで解決

ほとんどなし

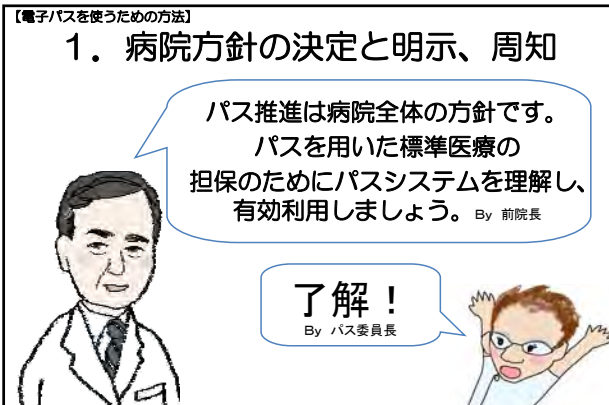
いくらでもセット可、繋げば飛ぶ～

### 【電子パスを使うための方法】

#### 1. 病院方針の決定と明示、周知

パス推進は病院全体の方針です。  
パスを用いた標準医療の  
担保のためにパスシステムを理解し、  
有効利用しましょう。 By 前院長

了解！  
By パス委員長



### 【電子パスを使うための方法】

#### 2. パスの普及促進と適用後の分析

2011/01～ 作成

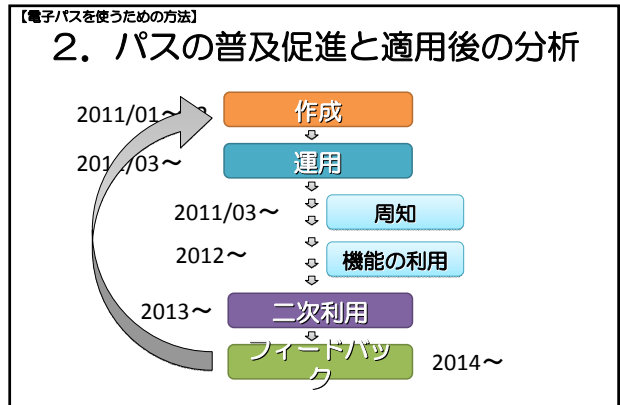
2011/03～ 運用

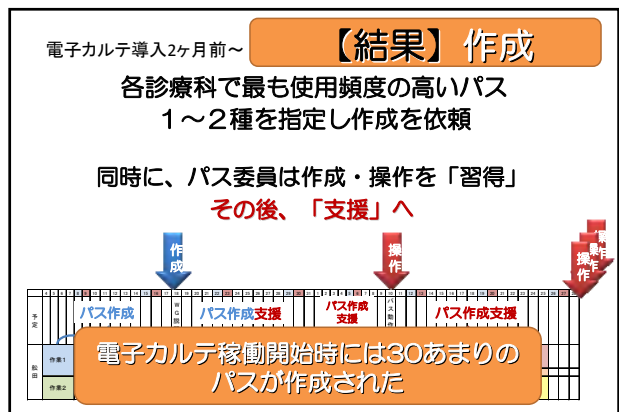
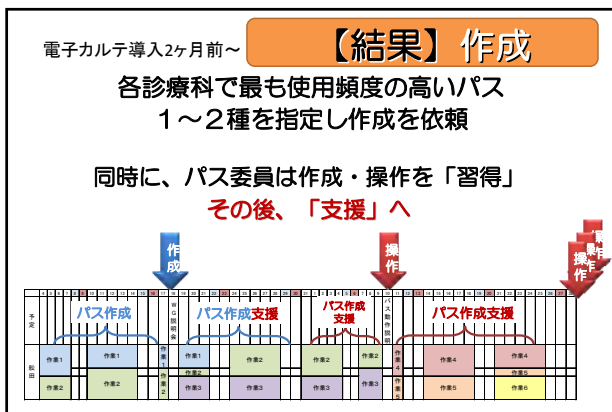
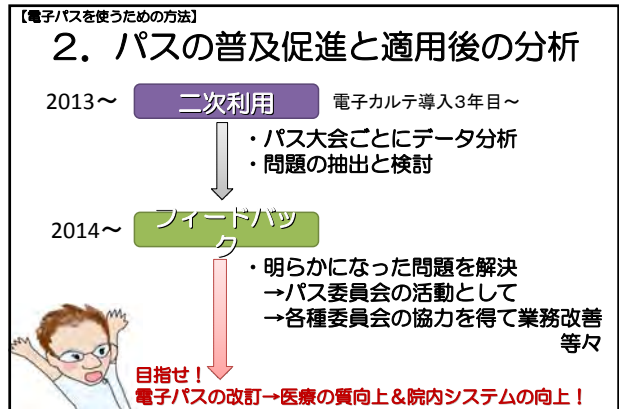
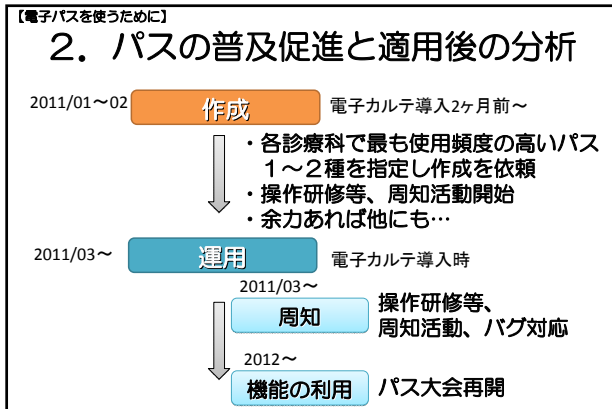
2011/03～ 周知

2012～ 機能の利用

2013～ 二次利用

フィードバック 2014～





電子カルテ導入2ヶ月前~ **【結果】 作成**

各診療科で最も使用頻度の高いパス

種別	パス名	22年使用数	パス名	使用数
			✓ TACE	83
			TP療法(腫)	78
✓ *	乳がん手術(統合)	467	* CTガイド下針生検	63
			TX療法(乳)	63
*	前立腺生検	234	✓ 前立腺全摘除術	57
✓	腫切除術	251	円盤切除術	54
✓	経葉切除術	225	子宮全摘術+リンパ郭清	48
✓	マストイT療法	186	標準広汎子宮全摘術	45
*	婦人科 小手術	192	肝切除術	44
✓	胃門部胃切除術(噴門側+全摘胃切除術)	172	✓ 甲状腺癌根治術	44
✓	TUR-B(嚢在性)	142	ERCP、ENBD	40
✓	S-1/CCDP	138	膀胱鏡下尿管分切除術	40
✓	TC療法(乳)	130	✓ S27 3F/Fビド/ルビソン併用	40
✓	臓腑・拡大子宮全摘	108	CRT(PP)療法	39
✓	TJ療法(一括投与)	105	PEG	36
✓	乳癌温存後放射線治療	101	CP併用療法(腫)	34
✓	FP療法	97	✓ 前立腺がん小線源療法	33
✓	消化管ストマ(22213)	89	大腸EMR・s・h・?	33
*	食道・胃:ESD-EMR	88	✓ 広汎子宮全摘術	33

2011/03~ **【結果】 運用**

電子化後の実績 3月: 27% 4月: 29%

4月実績 (受診患者数600) 適用29%

受診科	パス名	使用数
消化器科	CTガイド下針生検	24
泌尿器科	前立腺生検	21
婦人科	婦人科小手術 (s・t-尿管・内視鏡)	19
呼吸器科	TACE (エビルビソ)	10
消化器科	マストイT療法	10
泌尿器科	前立腺生検	7
消化器科	経葉切除術	7

4月実績 (受診科)

受診科	パス名	使用数
消化器科	CTガイド下針生検	24
泌尿器科	前立腺生検	21
婦人科	婦人科小手術 (s・t-尿管・内視鏡)	19
呼吸器科	TACE (エビルビソ)	10
消化器科	マストイT療法	10
泌尿器科	前立腺生検	7
消化器科	経葉切除術	7

診療科ごとの4月実績

診療科	パス名	使用数
消化器科	CTガイド下針生検	17
泌尿器科	前立腺生検	8
消化器科	経葉切除術	1
合計		17

電子カルテ導入月のパス適用率約30%、2ヶ月後には、紙の時代と同様の適用率に。

2011/03~ **【結果】運用**

2011/03~  
周知 操作研修等、  
周知活動、バグ対応等

月日	内容
1月18日	電子バス導入説明・登録説明会
2月10日	電子バス運用説明会
8月25日	電子バス
9月8日	電子バス
3月	アウトカム評価勉強会
毎月第4木曜	電子バスの運用、入力、操作等 について勉強会 (Ns対象)

2012~ **機能の利用** バス大会再開 **【結果】運用**

統計機能 (ソフトウェアサービス) を利用

適応患者  
適応患者  
バリアン  
アウトカム評価集計

2012~ **機能の利用** バス大会再開 **【結果】運用**

平成25/26年 公開バス大会

各議題別ワークグループ  
からの展示発表 (19演題)

平成25年 院内バス大会  
電子バス (フレキシブルバス) の  
バリアンス分析

平成25年 院内バス大会プログラム

**バス大会の目的**  
電子バスでのアウトカムに焦点を  
絞り、その評価・統計機能を利用  
しての分析手法を確立すること

シンポジウム (5演題)

**機能の利用** → **【結果】二次利用**

バス大会後のアンケート結果

各テーマに関する理解度を調査

理解度が5点以上の割合

アウトカム用語について理解できた	86.0%
アウトカムを説明する用語について理解できた	84.4%
アウトカム用語について理解できた	75.6%
アウトカム用語の電算機が理解できた	73.3%
アウトカム用語に使用する用語が 理解できた	68.9%
アウトカム用語の電算機が理解できた	67.9%

**機能の利用** → **【結果】二次利用**

バス大会後のアンケート結果

理解度が5点以上の割合

理解項目	院内 (%)	院外 (%)
バリアンスという用語が理解できた	90.70%	74.1%
バリアンスが病名 (定義) が理解できた	88.00%	100%
バリアンスを計測する目的が理解できた	100%	100%
バリアンスを評価する目的が理解できた	88.00%	100%
バリアンス統計で使われる用語が理解できた	75.0%	66.67%
バリアンス統計の概念が理解できた	74.4%	66.67%

**機能の利用** → **【結果】二次利用**

バス大会後のアンケート結果

理解度が5点以上の割合

バス用語の定義：理解度「高」  
バスの概念：理解度「中」  
システムの定義・操作：理解度「低」

バリアンス統計の概念が理解できた	74.4%	66.67%
------------------	-------	--------

2014～  
電子カルテ導入3年目～

### 【結果】二次利用

#### パス大会での討論内容要約

- ◆電子パスの操作や運用の周知が行えていない。  
→ 周知を徹底する。
- ◆アウトカム用語とアウトカム評価基準が曖昧で評価が難しい。  
→ 具体的で判断しやすい基準設定を検討。
- ◆アウトカム評価入力の複雑さが問題。  
→ 評価方法の検討とシステム改善。

2014～  
電子カルテ導入3年目～

### 【結果】二次利用

#### パス大会での討論内容要約



#### 今年度パス委員会の活動

- ・パス作成マニュアルの見直しと改訂
- ・パス操作マニュアルとQ&Aの作成
- ・データ分析に活用できる記録方法

### 【考察】

現在の電子パスは、  
電子カルテシステムの仕様に影響され  
必ずしもユーザーの思い描いた電子パスではない  
当院では、  
今実現できている電子パスのメリット  
(機能)を最大限に活用して、  
より良質な標準医療の提供を目指している。

### シンポジウムへの提言

パスの電子化を決めたら

- ・電子パスは紙パスとは役割が違うことを知ろう
- ・電子パスだからできることを考えよう

**電子パス、使います！**  
＝電子パスだからできることを使おう

パスという枠組み・成果目標を持ったデータ収集ができる

→分析しやすい→フィードバックしやすい

→PDCAを回しやすい